



館長だより

山形県産業科学館

令和6年12月17日(火)

発行 館長 加藤 智 一

ジバクアリ

時節がら物騒な話も何なのですが、世の中には仲間のために、正真正銘命を投げ出す生物がいます。その名は「爆弾蟻」(ジバクアリ)。爆弾蟻の特徴は、文字通り自爆攻撃！アリ科ヤマアリ亜科に属するアリで、正式には *Colobopsis saundersi*, 別名バクダンオオアリ、kamikaze ants と申します。主な生息地は東南アジアのマレーシアとブルネイです。爆弾蟻の体長は働きアリでおよそ 5mm、体色は濃茶色をしています。女王アリを中心とした社会を形成して生活しています。爆弾蟻は体を爆発させるといった独特の攻撃をするため、ヤマアリ亜科の中でも特殊な種とされています。爆弾蟻には自身の体長とほぼ同じサイズの大顎腺を持っており、これは昆虫の口器内にあるフェロモン分泌腺のことで、分泌組織と貯蔵囊からなります。爆弾蟻の働きアリは、敵に襲われた場合、腹筋を収縮させることにより自らの体の一部を自爆させ、大顎腺に貯蔵されている粘着性の毒液を敵に浴びせます。このとき、自爆した個体は死んでしまいますが、放出された毒液が警告フェロモンとして仲間を注意を促すとともに、粘性により相手を身動きが取れない状態にします。毒液の成分は脂肪族炭化水素とアルコールで、粘着性があるだけでなく腐敗性と刺激臭があります。

ことわざに、「蟻の思いも天に届く」というのがあります。蟻のように力の弱い者でも一生懸命になれば望みを達することができるというたとえですが、



それはあくまで自分自身の幸せに繋がる祈り、願い、行動の成果であって、自分自身の死を持って、自分自身が幸せになることはありません。仲間の中に、悲しみと後悔の感情を永遠に植え付けてしまうことになりはしないか。蟻に感情があるかどうかは分かりませんが、私はこの濃茶色の戦士にこう伝えたい。「やめときなさい」。

「蟻」のことわざ あれこれ

【蟻の穴から堤も崩れる】

わずかなことでも、油断すると大事を引き起こすことのとたとえ。堅固な堤防でもアリが掘った穴がもとで崩れるように、という意味。

【蟻の甘きにつくが如し】

利益のある所に人が集まって来ることのとたとえ。

【蟻の熊野参り】

大勢の人が列をなしてぞろぞろ歩くさまのとたとえ。

【蟻の這い出る隙も無い】

ほんの少しのすき間もないほど警戒が厳重であるたとえ。

【蟻も軍勢】

つまらない人でも沢山いた方がよいということ。

【竜の鬚を蟻が狙う】

弱いものが身のほどもわきまえず強いものに向かっていくたとえ。はかない抵抗のとたとえ。

↓ この挿絵は何でしょう？
ヒント: 童話

